

【イベント開催報告】
英語コーチング「TORAIZ（トライズ）」
オンライン英語学習イベント
「Dream Now, Travel Later」 第 11 弾を実施
～アメリカ英語とイギリス英語の違いを体験～

学習成果コミット型の英語コーチング・プログラム「TORAIZ（トライズ）」（以下、TORAIZ）を運営するトライオン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：三木 雄信）は、TORAIZ の受講生を主な対象としたオンライン英語学習イベント「Dream Now, Travel Later」第 11 弾を 2021 年 4 月 24 日（土）に開催しました。



画像：「Dream Now, Travel Later」第 11 弾スクリーンショット

■世界の観光地への旅をコンセプトとしたオンライン英語学習イベント

「Dream Now, Travel Later」は、TORAIZ の受講生および修了生向けのサービス「Club-TORAIZ（クラブトライズ）」会員を対象に、ネイティブコーチやスタッフがガイドに扮して世界の街の文化や歴史、おすすめスポットなどを紹介するオンライン英語学習イベントです。コロナ禍で海外旅行が難しいなか、日ごろの学習成果を発揮いただき、英語をコミュニケーションツールとして使う機会として昨年 6 月にスタートしました。英語のリスニングとスピーキングの両方を実践する内容に各回の参加者から好評をいただき、第 11 弾の継続開催を行う運びとなりました。

■第 11 弾の舞台はロンドン。アメリカ英語とイギリス英語の違いをご紹介します

「Dream Now, Travel Later」第 11 弾では、アメリカ英語に慣れているネイティブコーチとコンサルタントが会社の報酬旅行でロンドンへ出発。滞在中にアメリカとイギリスの言語・文化の違いを見つけるというミッションの中、現地ではイギリス出身のネイティブコーチが 2 人にロンドンの街を案内するという設定

で行われました。ヒースロー空港到着後に地下鉄で移動しようとするも、早くもその呼び名に違いが。アメリカ英語では「subway」ですが、イギリスでは「underground」もしくは「tube」と呼ばれています。その後ホテルにチェックインしようとするのですが、「2 階」の説明が通じません。アメリカ英語では「1st floor（1 階）、2nd floor（2 階）」ですが、イギリス英語では「ground floor（1 階）、1st floor（2 階）」と表現することなどが紹介されました。このほか、同じ単語でも意味が違ふことで起こるコミカルな展開に笑顔あふれるツアーとなりました。約 1 時間のイベント中すべて英語でプレゼンテーションやクイズを行い、25 名の参加者と質疑応答を交わしました。

■参加された方々の声

今回の参加者からは、「アメリカの英語とイギリスの英語の違いを学べたのが楽しい点でした」、「3 人の会話のため、聞き取りの練習になった」、「日常会話で親しみやすく分かりやすい内容でした。面白かったです。ありがとうございました」など、嬉しいお声をいただきました。

TORAIZ では、コロナ禍の中でも様々な形式でのオンラインイベントを通じて、受講生・修了生みなさまにとって有意義な英語学習継続の機会を提供して参ります。

<開催概要>

名 称：「Dream Now, Travel Later」第 11 弾
日 時：2021 年 4 月 24 日（土）13 時 00 分～14 時 00 分
開催方法：Zoom
参 加 費：無料
参加人数：25 名（事前申し込み制）
主 催：トライオン株式会社

<「Dream Now, Travel Later」開催実績>

第 1 弾：アメリカ・サンフランシスコ（2020 年 6 月開催）
第 2 弾：オーストラリア・シドニー（2020 年 7 月開催）
第 3 弾：アメリカ・ニューヨーク（2020 年 8 月開催）
第 4 弾：日本・上野（2020 年 9 月開催）
第 5 弾：マレーシア（2020 年 10 月開催）
第 6 弾：イギリス・グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国（2020 年 11 月開催）
第 7 弾：ミステリーツアー（2020 年 12 月開催）
第 8 弾：日本・大阪（2021 年 1 月開催）
第 9 弾：カナダ・西海岸（2021 年 2 月開催）
第 10 弾：イングランド（2021 年 3 月開催）
第 11 弾：ロンドン（2021 年 4 月開催）

【TORAIZ（トライズ）について】<https://toraiz.jp/>

1 年間で 1,000 時間の学習により、日本人が最も苦手とする英語のスピーキング力を身に着けることができる学習成果コミット型の英語コーチング・プログラム。受講生一人ひとりにカスタマイズされた目標設定、その実現のための自己学習プログラムの作成、日々の学習サポート、2 週間に一度の面談での進捗チェックを、専属のコンサルタントが担当。

さらに、自己学習をアウトプットする場として、担任制ネイティブコーチとの週 3 回（1 年で計 144 回）の英会話レッスンに加え、フリートーク英会話レッスンが受け放題。インプットとアウトプットのサイクルを作ること、日本にいながらにして、実践的なビジネス英語を身に着けることができるサービスです。学習モチベーションの維持のためにリアルな人とのコミュニケーションを重視していることも特徴で、開校以来約 5,300 名が受講。受講生満足度 97.9%（※1）、1 年間学習継続率 91.7%（※2）という実績を持ちます。2021 年 5 月現在、東京都を中心に神奈川県、愛知県、大阪府に計 13 センターを構える（※3）。

※1：当社お客様満足度調査（2020 年 10 月実施）

※2：累計受講生（受講開始 1 ヶ月以内での退会者除く）の内、受講開始から完了までに退会していない受講生の割合（2020 年 10 月当社調べ）

※3：2021 年 5 月現在、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、すべてのセンターにおいてオンラインでレッスンを行っております。

【会社概要】

トライオン株式会社 <https://tryon.co.jp/>

三菱地所、ソフトバンクを経て、代表取締役社長の三木雄信が 2006 年 12 月に設立。ソフトバンク時代に孫正義社長（当時）の海外出張に同行して英語が全く話せない、聞き取れない経験をしたことから、英語の勉強を開始。1 年で交渉で負けない英語力を身に着けた経験をもつ。「学ぶことを通じて人と組織の可能性を開く」を経営理念として創業より一貫して「教育」を軸にした事業を提供。インターネットを通じて時間や場所に捕われずに、多くの人が様々な学習コンテンツに出会える場所を提供することを目的に、日本最大級の通信講座「脳内カレッジ」を運営。

2015 年より、ビジネスレベルで通用する英語を 1 年でマスターする英語コーチングスクール「TORAIZ（トライズ）」を開始。日本の英語教育を抜本的に変え、グローバルな活躍ができる人材の育成を目指している。

< ご取材など、本件に関する報道関係のお問い合わせ先 >

トライオン株式会社 コミュニケーション室

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 5 階

TEL：03-6257-1834／E-mail: press@tryon.co.jp